



にし いち げん き つう しん

西一元氣通信



茶の花ちゃん

～ 西砂学習館運営協議会便り ～

茶の木くん

第3回 西砂川地区地域学校コーディネーターと西砂
 1面： 学習館運営協議会委員との情報・意見交換会
 2面・3面： 西砂学習館運営協議会委員の自己紹介
 4面： にしすな夜間塾～おやこのための読み聞かせ～/ 地域再発見

編集・発行 西砂学習館運営協議会
 (西砂町 6-12-10 西砂学習館内)
 ☎/FAX 042 (531) 0431
 [西砂学習館メールアドレス]
 nishisunagakusyukan@city.tachikawa.lg.jp

第3回 西砂川地区地域学校コーディネーターと西砂学習館運営協議会委員との情報・意見交換会



今、審議会等の答申を受け、学校教育と社会教育が一体となり、子どもたちの教育に取り組むことが求められています。地域における学校との協働体制（地域学校協働本部）が目指すものに、具体的に一歩でも近づきたいとの願いの下、16名（地域学校コーディネーター4名、地域学習館運営協議会委員12名：市職員3名含む）が、3月16日、3回目の会合を持ちました。内容は、(1)地域コーディネーターの今年一年間の活動等の報告について。(2)地域学習館で「子どもの居場所作り」として取り組まれている夏休みの事業に対して、子どもと近い距離に居る

コーディネーターの立場から、活動内容等への提案・要望、感想等について。(3)これまで、話し合われてきた2フィールド（地域・学習館等の施設）で、子どもたちの学びにどのような支援（地域学校協働本部事業）ができるか、個々の考えを提案・協議・検討しつつ、具体的な策・方向性を形にするための話し合いを進めました。1グループ4名の4グループで話し合いました。視点：①地域社会における地域活動。②学びによるまちづくり。具体的な策として、㊦多様な活動（多くの地域住民の参画）。㊧継続的な活動。各グループの代表に、話し合いの内容報告をして頂きました。(4)今後、この会合を学期に一回は持つことにより、地域と学校が連携・協働の体制の中、具体的な活動内容・方策等を実践化に繋がるよう話し合い等を進めていく事が確認できました。

ウェブサイト「みんなの西砂川」でもご覧になれます。

みんなの西砂川
QRコード



2年間の活動を振り返って

コロナ禍、「西砂サマーイベント」が六年目、「にしすな夜間塾」が四年目を迎えられた。食を伴う講座は、形態を変えつつ継続実施。地域再発見講座は、意図的に立案し、地域と関わる・触れる・知る等の機会を、今後も多くの人達に提供していきたい。「学社一体」の流れの中、地域学校コーディネーターとの話し合いの機会を得て、「地域学校協働本部事業」推進の一助として、学習館が関われる内容を、今後も模索していきたい。地運協の活動内容の周知を願い「西一元氣通信」が二年目を迎えた。内容充実を図りつつ、皆さんの生涯学習の起点としての「西砂学習館」を創っていきたい。

西砂学習館運営協議会 会長 大橋 正則

メンバー紹介

今回は、西砂学習館運営協議会の皆さんにアンケートをとってみました！

- ① これまでに企画したおススメの講座
- ② ①をおススメしたいポイント
- ③ 西砂・一番町の好きなところ

企画した講座は、どれも素敵なものばかり↓
運営協議会一同、講座でみなさんにお会いできることを楽しみにしています！

大橋 正則 会長

公立小学校元校長

- ① にしすな夜間塾
- ② 子育て世代限定講座。ホッとできる癒し系、子育て過程で大事にしたい事等、同世代の親子で体験できます。
- ③ 講座・イベントの運営に於いては、物心両面での協力体制に理解ある地域である事が自慢です。

加藤 寛治 副会長

たちかわ市民交流大学
市民推進委員会

- ① 西砂サマーイベント
- ② 夏休み期間中の子供の居場所づくりとして素晴らしいイベントです。地域運営協議会は地域に密着した活動を行うことが大きな目標だと思います。
- ③ 西砂・一番町地区は自然の多い緑豊かな地域です。これからも更に地域の皆さんや農家の方々とお知り合いになり、一緒に活動していきたいと思っています。

浅見 由希乃 委員

社会福祉協議会
地域福祉コーディネーター

- ① 西砂での災害を考える
- ② 一般的な防災・減災の知識に加えて、地元の特徴や風土等の身近な情報が盛り込まれた西砂ならではの対策が学べるのが、魅力だと思います！今年度は特に自治会の方々にお声掛けをし、一緒に学べたことがとても心強かったです。
- ③ 文化や歴史、伝統が豊かに息づく地元への♡愛を持っての方々が多い印象です♪ これからもいろんな西砂の魅力を、みなさんと一緒に楽しみ・学びたいと思います！

小笠原 恵子 委員

立川市西砂児童館館長

- ① 西砂サマーイベント
- ② 西砂小・松中小・第七中いずれの学区からもアクセスしやすい立地の学習館で、夏休みの子供たちに楽しい時間を過ごしてもらえ「居場所」となっています。
- ③ 子どもたちがとにかく元気なところ。大人の方たちが、子ども達を温かく見守ってくださっているのがストレートに伝わるところ。

広瀬 俊夫 委員

たちかわ市民交流大学
市民推進委員会

- ① 地元を学ぼう
講師：鈴木 茂夫 氏 / 豊泉 喜一 氏
- ② 一番町・西砂地域は立川市内で新住民が最も多く、今後も農地の相続で宅地は増えていく。地域での交流・まちづくりは新しい住民に喜んでいただけるか。
- ③ 玉川上水沿いの遊歩道と、なんと言っても農業が盛んなことです。

森 亜記子 委員

西砂学習館利用団体会長

- ① 地域の再発見・地元を学ぼう！
- ② 住んでいながらも知らなかった西砂の歴史を知ることで、地域に愛着が湧きました。ぜひ皆さんにも知って頂きたいと思いました。
- ③ 穏やかでありながら、新しく転入された方も増え、活気が出てきた感じがします。そして新鮮な野菜が手に入ること!(笑) 美味しい野菜を食べると元気になります。

長谷川 由美子 委員

青少年健全育成
西砂川地区委員会

- ① 地域再発見！地元を学ぼう
- ② 自分の住んでいるたちかわ、砂川の歴史を講師である豊泉先生の興味深い話を聞きながら、学ぶことができるところです。
- ③ 立川といっても、この辺りは立川駅周辺と違い、自然が豊かなところ。冬は遠くの山々がとてもきれいに見えます。

岩元 喜代子 委員

立川市文化協会

- ① 西砂サマーイベントと 地元を学ぼう！
- ② 西砂サマーイベントは、子ども達と一緒に学び遊んでとても楽しい！地元を学ぼうでは、何気なく通っている道の傍に建てられた小さな祠や地蔵を見て、先人たちが残した篤い思いを知ることができます。この2つが過去から未来に繋いでくれる大切な講座だと感じています(^^)
- ③ 新鮮な作物はもちろん、大好きな牛を飼っていらっしゃる酪農家さんもいるところです。これからも精一杯地域を応援していきます。

小林 マサ 委員

西砂学習館利用団体

- ① 地産ランチ&地元さんぽ
- ② 地元の農家や歴史ある砂川のお宅を散策し、ゴールの西砂学習館では採れたて野菜で作った料理を皆で食べたことで、西砂・一番町地区の魅力を実感できたこと。
- ③ 採れたて野菜等、農家の直売所が実に多い。そして、販売されている物も充実していて大変満足なことです。

増田 正三郎 委員

西砂学習館利用団体

- ① フリースペース
- ② 小林マサ委員を中心にお子さんたちの居場所づくりを目的に、息の長い活動を継続して下さり、途中から参加させていただいた私は、家庭内では行ったことのない調理のお手伝いをさせていただきながら、「お子様たちの目を見張るような個性を輝かせていく変化の姿勢」を目の当たりにしたことによります。
- ③ 大都会の中の田舎であるところが大好きです。

にしすな夜間塾「おやこのための読み聞かせ」は、残念ながら延期となりました ☹️☹️☹️

西砂児童館・西砂学習館運営協議会合同企画
「第6弾」 パパもママも学びたい! 楽しみたい!
にしすな夜間塾
おやこのための読み聞かせ
あなたの声が 脳と心を 育てます
【日時】: 2022年3月4日(金)
18:30 ~ 20:00
【会場】: 西砂児童館
【対象】: 子育て中のパパ・ママと お子様
【定員】: 15組(申込順)
【費用】: 無料
【持ち物】: 筆記用具
【講師】: 六蔵 亮子さん
山田 悦子さん (たんぼぼ読書会)
【お申込/お問合せ】: 西砂学習館 ☎042-531-0431

3月4日(金)第6弾「にしすな夜間塾(おやこのための読み聞かせ)」が、コロナ禍により中止になりました。今回、子育て世代の親子さんに、読み聞かせによるゆったりと絵本に触れる機会を親子で味わってもらおうと、「たんぼぼ読書会」でご活躍のお二人に講師をお願いし企画しました。しかし、蔓延防止期間中であること、子どもへのコロナの感染者拡大、また夜間での講座である事、何よりも人の集まる場に出かける躊躇等の要因もあり、やむなく中止とせざるを得ませんでした。外出を控える時期でもあり、今「読書」への関心も高まってきています。その様な時期、「お話に触れるという体験」を親子で皆さんと一緒に過ごすことが出来る機会になればと願っていました。保護者の皆さんには、こころ癒される優しい時間になるかも? 子どもたちにとっては、夢を膨らませ心躍る豊かな時間になるかも?

再度、講座を企画したいと願っています。その節には、絵本の世界を親子でゆったりと体験してみましょう。

どこかで、お父さんの絵本を読み聞かせる声が聞こえて来ます。寝る前の時間、お母さんの膝の上で絵本を指さしながら聴いているお子さんの姿が、浮かんで来ます。

絵本を楽しむことを通して、

- ①言葉の力(豊かな語彙を使って考える、表現する)
- ②言葉をつなげて新しいものを組み立てる力
- ③お話を集中して聞く力
- ④抽象的な思考力、想像力
- ⑤活字や本への親近感
- ⑥知的な好奇心・・・などの恵みも与えてくれるものです。{抜粋「絵本のある子育て」から}



地域再発見 西一散歩

「春祭り」

(西砂川の方言)

四月十五日は、阿豆佐味天神社の春祭りである。この日は、嫁に行った娘も里帰りし、みんなで神社に遊びに行った。阿豆佐味天神では、神楽や芝居が奉納される。芝居は「義経千本桜」や「国定忠治」に人気が集まり、ムシロの上に座って、夜の十時ころまで見ていた。境内には、ダンゴ屋やイカ焼屋の屋台が並び、にぎやかであった。

春祭りの食べ物といえば草もちで、祭りが近づくと、一日がかりでモチ草のヨモギ摘みをした。米の粉を蒸し、ゆでたモチグサを混ぜて臼で搗く。アンコを丸く握って、草もちで包み、草モチマンジユウにした。

砂川には、山車が十台あって、組ごとに囃子を競い合ったというが、今は一台も残っていない。

「う行」
うざってー(気味が悪い)
うろんべー(はつきりしない(「うる覚え」))
うんめー(つまい)

「え行」
えらあらー(「えらく」沢山あるぞ)

「お行」
おかっこま(正座する)
おこじょ(三時のおやつ)
おっこぼれる(こぼれる)
おっちらし(流れの低い方へ自然に流す事)「注:五日市街道沿いに流れていた殿ヶ谷用水には、当初末端がなく、畑等に流しっぱなしだった」

「立川の年中行事」より

「西砂川方言辞典」から